

自民党厚生労働部会における厚年基金制度に関する議論の様相について

～日本生命からの情報です。

自民党・政務調査会厚生労働部会（部会長：福岡資麿議員）は平成25年2月13日、厚生年金基金制度の見直しについて議論しました。

この日の会議では、厚生労働省が専門委員会(※)で取りまとめた意見書の内容を説明、意見交換が行われました。

※ 厚生年金基金制度に関する専門委員会

部会後に記者会見した福岡部会長は「本日は各議員が疑問に思う点や問題意識を開陳してもらい、結論を出すことはしていない」「健全な基金の存続については、特段の意見はなかった」と述べました。

厚生労働省は、厚年基金制度の見直しに関する法案について、第3号被保険者の記録不整合問題への対応と併せ、「公的年金制度の健全性及び信頼性の確保のための厚生年金保険法等の一部を改正する法律案」として今国会に提出する方針です。

今後、自民党は、厚生労働省の法案がまとまった段階で、改めて厚生労働部会を開催し、その中で、厚年基金制度の存廃などについて議論する方針です。

一方、厚生労働省が一律廃止の方針を見直し、新たな改革案を示すことにしたとの一部報道について、当社が本日、厚生労働省に確認したところ、「専門委員会の意見書をベースにして、与党と調整しながら法案を作成する方針に変更はない」と説明しました。

以下、自民党・厚生労働部会後の福岡議員による記者会見の様相について、ご案内いたします。

【自民党・厚生労働部会後の福岡議員による記者会見の様相】

(福岡氏)

本日の部会では、厚生労働省から今国会提出法案について説明をいただいた。

個別の法案については、法案提出の段階で議論を行う。二つ目の議題として厚生年金基金について議論した。専門委員会の意見書と厚生労働省の考え方について説明いただいた。結論から言うと、これも法案として提出する際に、厚生労働部会で審議するので、本日は各議員が疑問に思う点や問題意識を開陳してもらい、結論を出すということは敢えてしていない。それについては、法案提出の際に、厚生労働部会で議論してもらう。

昨年の12月の衆院選で当選した議員も多いことから「A I J」事件や厚生年金基金につ

いて、もっと理解を深めてから法案審議に入るべきではないか」という意見もあった。今後、そもそも厚生年金基金はどのようなものかという基本論の勉強会を重ねたうえで、法案審議に臨む段取りにしたいと思う。

個別の議論では、「代行部分の積み立て比率について1.5というところで基準を引こうとしているが、その根拠は何か」という質問と、1.5が高すぎるという意見があった。また、いわゆる"あるだけ解散"はモラルハザードを招くものであり問題だという指摘や、代行割れを長らく放置してきた厚生労働行政にも責任があるという意見もあった。こうした意見を受け止めて、今後の法案審議につなげていく。

(記者)

「制度を全廃するか、一部残すか」が、論点の一つだが、その部分の意見はなかったか。

(福岡氏)

健全だといわれる基金の存続をどうするかという点については、特段の意見はなかった。法案審議の際にそうした議論が出てくると思う。

(記者)

存廃については、厚生労働省の考えのままの法案が出てくるのか。

(福岡氏)

本日の意見を踏まえて、法案提出作業に入ってもらふということなので、最終的に厚生労働省として本日いろいろ出た意見をどこまで踏まえるかということだが、それは彼らの中で判断いただくことだ。

(記者)

田村大臣は党の意見を聞いて法案をまとめると発言している。党の意見というのは、今日の個別の意見のことか、それとも改めて自民党の意見が出るのか。

(福岡氏)

最終的に法案審議の際に、もう一度部会をやる。今日の議論の中で、新人議員も含めてスタート台の意識にばらつきがあることを感じたので、そこは勉強会を重ねながら、それぞれの問題意識を共有していった上で、きちんとした議論をまとめていきたい。

(記者)

厚生労働省の案は廃止が前提になっている。自民党として廃止についてどう考えるのか。

(福岡氏)

そこは、部会の中でどのような意見を持っている人が大勢を占めるかという点に関わる部分だと思って言っているので、今後の議論の中で多くの方の意見を集約していきたいと考えている。

(記者)

今日の会合では廃止を支持する意見は出たのか。

(福岡氏)

そうした発言はなかった。

(記者)

法案になる前に自民党の意見を厚生労働省に伝えるのか。

(福岡氏)

今の段階では、そこは考えていない。ただ、今後、党内議論をやりましょうということでまとまったので、政府側に強く伝えるべきだという論点が出てきた場合には、そういったケースもありうる。

(記者)

勉強会は部会で行うのか。

(福岡氏)

部会とは別だと思う。どういう建て方をするかは今後、考える。

以上